

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【公表番号】特表2008-527141(P2008-527141A)

【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-551272(P2007-551272)

【国際特許分類】

C 08 G 77/34 (2006.01)

【F I】

C 08 G 77/34

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

残留酸性成分を含有するポリシロキサン加水分解物を、コークス、木炭、歴青炭由來の炭素、無煙炭由來の炭素、亜炭由來の炭素、木材由來の炭素、泥炭由來の炭素、及びヤシ殻由來の炭素から成る群より選択される炭素で処理すること、並びに前記処理済み中和ポリシロキサン加水分解物から前記炭素を分離することを含む、ポリシロキサン加水分解物の中和方法。

【請求項2】

前記炭素が歴青炭由來の炭素である、請求項1に記載のポリシロキサン加水分解物の中和方法。

【請求項3】

前記炭素は、前記処理済み中和ポリシロキサン加水分解物をプレート&フレームフィルターブレスに通過させることによって加水分解物から除去され、次に前記濾過された加水分解物をポリッシングフィルターに通過させて微粒子を除去する、請求項1に記載のポリシロキサン加水分解物の中和方法。

【請求項4】

前記ポリシロキサン加水分解物は、炭素の固定床を通過し、前記中和されたポリシロキサン加水分解物は、濾過されて炭素微粒子を除去する、請求項1に記載のポリシロキサン加水分解物の中和方法。

【請求項5】

前記ポリシロキサン加水分解物は、一種以上の炭素含浸フィルターを通過する、請求項1に記載のポリシロキサン加水分解物の中和方法。